

Reference D1

Japanese Utility Model Kokai No. 04-100431

Laid-opening date: 31 August 1992

Application No.: 03-3644

Filing date: 04 February 1991

Applicant: SHOWA ALUMINIUM CO. LTD., Sakai-shi, Osaka

Title: Packaging wooden box

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) **公開実用新案公報 (U)**

(11)実用新案出願公開番号

実開平4-100431

(43)公開日 平成4年(1992)8月31日

(51)Int.Cl.⁵

識別記号

府内整理番号

F I

技術表示箇所

B 6 5 D 6/26

Z 6916-3E

審査請求 未請求 請求項の数1(全2頁)

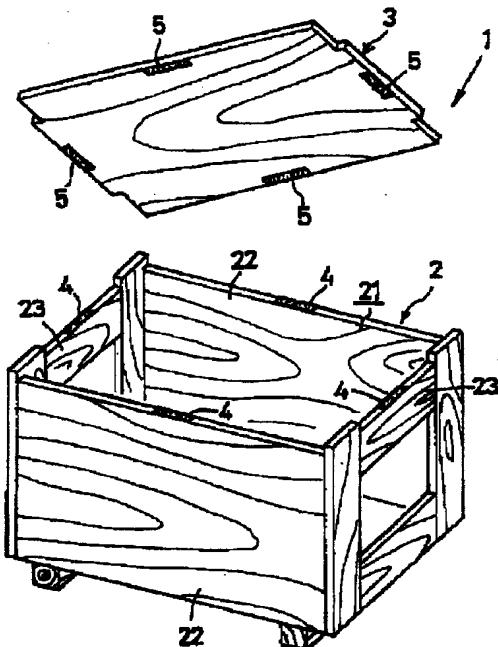
(21)出願番号	実開平3-3644	(71)出願人	000186843 昭和アルミニウム株式会社 大阪府堺市海山町6丁224番地
(22)出願日	平成3年(1991)2月4日	(72)考案者	堀之内 利文 堺市海山町6丁224番地 昭和アルミニウム株式会社内
		(72)考案者	富永 哲生 堺市海山町6丁224番地 昭和アルミニウム株式会社内
		(72)考案者	藤井 宏 堺市海山町6丁224番地 昭和アルミニウム株式会社内
		(74)代理人	弁理士 岸本 瑛之助 (外3名) 最終頁に続く

(54)【考案の名称】 梱包用木箱

(57)【要約】

【目的】 封緘、開封を容易に行う。封緘、開封時の破損を防止する。

【構成】 箱本体(2)と蓋(3)によりなる。箱本体(2)の周壁(21)上端面と蓋(3)下面との間に面ファスナを設ける。面ファスナは、箱本体(2)の周壁(21)上端面に取付けられた雄ファスナ部材(4)と、蓋(3)下面に取り付けられた雄ファスナ部材(5)によりなる。雄ファスナ部材(4)は多數のパイルを有する。雄ファスナ部材(5)は雄ファスナ部材のパイルに係合する多數の係合突起を有する。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】 箱本体と蓋とよりなるる梱包用木箱であつて、箱本体の周壁上端面と蓋下面との間に面ファスナが設けられており、面ファスナが、箱本体の周壁上端面および蓋下面のうちのいずれか一方に取付けられ、かつ多数のパイルを有する雌ファスナ部材と、同他方に取付けられ、かつ雌ファスナ部材のパイルに係合する多数の係合突起を有する雄ファスナ部材とよりなるる梱包用木箱。

【図面の簡単な説明】

【図1】この考案の実施例を示す分解斜視図である。

10 21

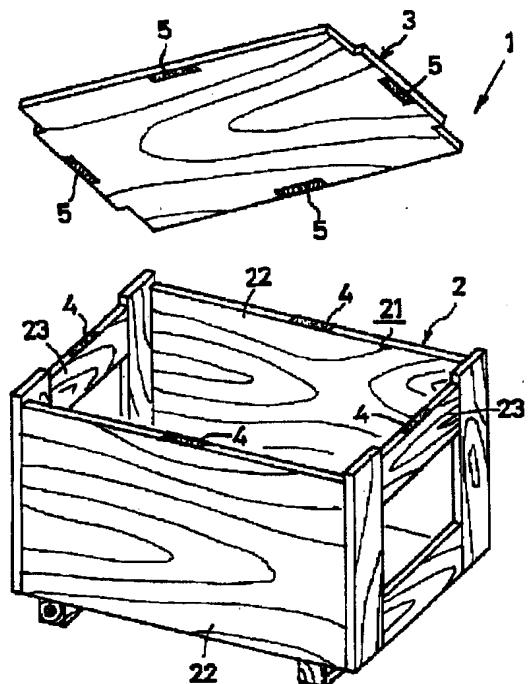
2

【図2】面ファスナの部分を示す拡大図である。

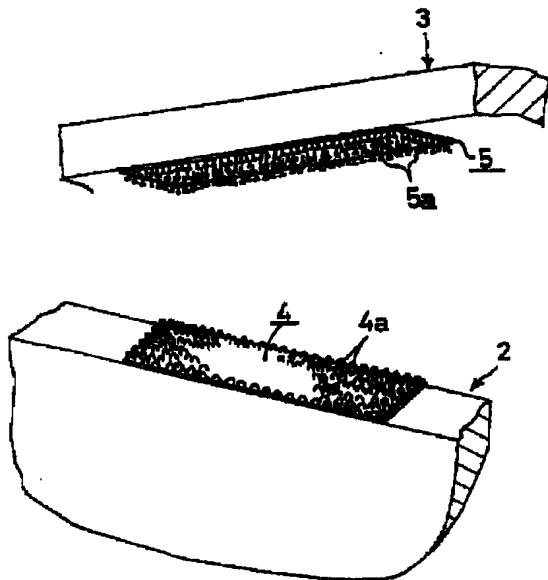
【符号の説明】

1	梱包用木箱
2	箱本体
3	蓋
4	雌ファスナ部材
4a	パイル
5	雄ファスナ部材
5a	係合突起
周壁	

【図1】



【図2】



フロントページの続き

(72)考案者 河田 利之
堺市海山町6丁224番地 昭和アルミニウム株式会社内

(72)考案者 松永 文男
堺市海山町6丁224番地 昭和アルミニウム株式会社内